

第8回豊島区介護保険事業計画推進会議資料に関するご意見・ご要望等について

資料番号	ページ	項目	ご意見・ご要望等	回答	所管	
1	資料1-1	P4	02 計画の	計画の基本的な考えで背景の前に主旨、構想の位置づけで世界が取り組み、日本中で注目されている豊島区のSDGsの現状、方向性、そして「誰もが主役になれる国際アートカルチャー都市」構想について記載がされてはいかがですか？	本区の都市構想やSDGsの方向性等については、最上位計画である「豊島区基本計画」や、保健福祉分野の総合計画である「豊島区地域保健福祉計画」において示しております。 本計画では、上位計画の方針に基づき、高齢者福祉分野の具体的な施策等を示すことを目的としています。	介護保険課
2	資料1-1	P22	(第2章 高齢者の状況 02 アンケート調査結果の概要 (2) 調査結果の概要) ④ 介護予防の推進	要介護認定を受けていない人のリスクを評価すると…の後の記述そのものはよく理解できるのですが、いきなり「リスクを評価すると」という言葉が出てくるので、このリスクが何を指し、どのように求めたのかと疑問に思いました。できれば、どのようにリスクを評価したかを、例えば「要介護認定を受けていない人のリスクを『基本チェックリストによるリスク判定』により評価・分析すると…」と加えるだけでも唐突感が和らぐと思うのですが、どうでしょうか？	ご指摘の通り、本項目は「令和4年度介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」の基本チェックリスト項目の結果をもとにしています。唐突感が和らぐよう検討いたします。	高齢者福祉課
3	資料1-1	P52	地域ケア会議機能の推進	65歳以上で仕事を退職した方をターゲットにした「セカンドライフ応援講座」を実施。地域で活躍できる場の照会を通じて活動的なシニアライフが送れるように支援しています。とあるが、シルバー人材センターだけでなく豊島区の企業を紹介または広報で採用企業名を告知してはどうか？支障はあるか？	現状のセカンドライフ応援講座は、シルバー人材センター、ハローワークほか、ボランティアなど15の相談ブースを備え実施しました。今後、参加者の声を聞きながらセカンドライフを応援する事業者に声をかけていきたいと考えております。区内企業の紹介をする場合は、公募など公平性を考え実施できるか検討していきます。	高齢者福祉課
4	資料1-1	P70	高齢者総合相談センターの機能強化	「少し前の自分を取り戻す」は、これなら自分でもできそう、そうなりたいと思える素晴らしいキャッチコピーです。どうしたらできるか？自分で、仲間と、地域で、センター、ひろばで…パブリックコメントで募集し広報で告知してください。	現状では、計画にも記載した短期集中通所型サービスやとしまる体操は、実施後の効果検証ができており、実施や普及に力を入れております。これからも、つながるサロンやとしまりハビリ通所サービス、介護予防事業など効果を検証できる事業は効果検証を進めながら、介護予防事業、総合事業に力を入れてまいります。	高齢者福祉課
5	資料1-1	P88	介護人材(常勤換算)の将来推計グラフ	介護職員数(需要と供給の差)の2023年度数値が、27人となっています。常勤換算であるため、職員の入れ替わり頻度や人材派遣職員等にて補充せざるを得ない状況が見えず、慢性的な介護人材不足の実態に合わない数値とならないでしょうか。	本推計については、国から提供された介護人材推計のツールを使用して推計をしたもので、2020年の介護サービス量と職員数を基準として、その後の介護サービスの需要増や生産年齢人口の減少に伴い、将来的に不足する介護職員数を示したものととなります。 なお、推計にあたっては、2020年時点の介護職員の過不足が考慮されていないため、現状を正確に反映できるものではありません。 パブリックコメントの際には誤解が生じないように記載方法を工夫します。 なお、推計では実人数の推計値もありますが、常勤・非常勤職員の割合に東京都平均を用いており、本区の実態と異なる可能性が大きいので、今回は常勤換算の推計のみを使用しています。	介護保険課